産業人クラブだより ―かけはし―

産業人烈伝

ニッチ分野で〝キラリ光る〟

オーエムヒーター・増田晃佳会長 ㊤

「ニッチな分野でキラリと光る製品を持つことが中小企業の生きる道」―。1986年の設立以来、こうした信念の下、主力製品のシリコーンラバーヒーターの普及にまい進してきた。主に医療機器や生産設備に使われており、最近は東京スカイツリーの凍結防止用として採用された。工業用ヒーターとして顧客の評価は高いと自負している。

シリコーンラバーヒーターはニクロム線をシート状のシリコーンゴムで挟んだ工業用ヒーター。柔軟性に富み、被加熱物の形状に合わせて設置できる。工場設備などの湿気、凍結防止に役立つ。

私は39年に兵庫県で生まれた。高校卒業後、大阪府の工業用ゴム製品メーカーなどを経て、65年に名古屋市で兄と工業用ゴム製品の販売会社を立ち上げた。多くの顧客に恵まれ、営業活動は堅調だった。

顧客の中の一社に愛知県内の工業用ヒーターメーカーがあった。この会社の技術者との交流の中で米国製シリコーンラバーヒーターの存在を知った。私は当時、日本では珍しかった同製品に興味を持ち、取り寄せた。

実際にシリコーンラバーヒーターを手に取ってみて、独自のアレンジを加えれば日本でも売れるのでは、と漠然と感じた。元来モノづくりが好きで、いつかは「モノづくりをしたい」との憧れをずっと抱いていた。シリコーンラバーヒーターとの出会いがこうした思いに火をつけ、生産を決めた。

ただ、商品化で課題となったのがシリコーンシートの製造先だ。見知らぬ材料に前に、国内の大手メーカーをはじめ数多くの素材メーカーから製造を断られた。だがあきらめることなく海外にも足を運んだ。訪問先の情報などを手がかりに、ついに製造先になりそうな会社を探し当てた。それがシリコーン原料メーカーの米アーロン（デラウェア州）だった。

単身、米国に渡りアーロンの担当者と粘り強く交渉した。「日本でシリコーンラバーヒーターを作りたい」との思いが通じたのだろうか、アーロンからシート製造の快諾を得た。

強力なパートナーを得て、製品は完成。会社設立を機に、いよいよ販売に乗り出すことになった。

（名古屋市天白区）

（全3回）

東京スカイツリーの凍結防止用として採用されたシリコーンラバーヒーター

トップインタビュー

菊地 義典氏に聞く

菊地歯車（栃木産業人クラブ）

航空機事業 第3の柱に
海外市場を積極開拓

取引先の大手企業の海外進出、円高など日本のモノづくりを取り巻く環境は厳しさを増している。国内企業は事業を継続するためどうすればいいか模索が続く。モノづくりが集積する栃木県で自動車や建設機械などの歯車を製造する菊地歯車（栃木県足利市）は、海外に進出せず、国内生産にこだわる方針を早くから打ち出している。事業展開などについて菊地義典社長に聞いた。

（杉浦武士）

◇

―直近の生産状況は。

「東日本大震災後、昨夏以降の自動車メーカーの増産に伴い、自動車部品の受注が順調に拡大した。単月ベースでは10―20％の増産になった。4月以降は増産ペースが落ち着き、顧客も外注分を内製で対応するようなコストへのオペレーション

きくち・よしのり　93年（平5）早大理工卒。同年菊地歯車入社。00年専務、05年社長。足利商工会議所議員。栃木県出身、42歳。

「あまり悲観的になる必要はないと思う。日本のモノづくりが生かせる分野はたくさんあるし、各社が勝てる分野を見極めていけばよい。ただ、大手企業の低コストへのオペレーションはより強まるだろう。その意味では今後、海外に流れるモノ、国内に残るモノの線引きがよりはっきりするかもしれない」

―国内生産の継続を強調しています。

「もともと、価格競争に陥りやすいボリュームゾーンの部品を手がけているわけではない。開発の段階から顧客と連携し、量産化までつなげるやり方を続けてきた。これを持続するため、加工が難しい高精度歯車の開発に取り組み、短納期で顧客に供給できる体制をより強化していく」

―航空機事業も戦略事業に据えています。

「フラップを駆動させる油圧アクチュエーター部品などを手がけている。同事業の売上高比率を現在の約5％から中長期的に10％台に上げ、自動車、建機に次ぐ第3の事業の柱としたい」

―特に海外市場に注目しています。

「近年は海外の大規模展示会に積極的に出展している。11年は世界最大級の展示会『パリ航空ショー』に、今年2月にはシンガポールで開催した航空展示会に参加した。近年、欧米の航空機関連メーカーはアジアに生産拠点を設け、調達もアジアで完結させようとする動きが出ている。当社はこうした市場を開拓していきたい」

トピックス

東京 山田マシンツール
加工液、工具長寿命に

山田マシンツール（東京都台東区、山田雅英社長、03・3834・5046）など3社は、水溶性切削油と比べマシニングセンター（MC）の生産効率を約1.5―2倍に向上できる加工液「アルクール」を共同開発した。強アルカリイオン水の冷却効果を活用した。工具寿命も約1.5―4倍に伸びるため、工具費用も削減できる。難削材加工メーカーを中心に提案し、2012年9月期に売上高3000万円を目指す。

同社は洗浄機メーカーの日伸精機（墨田区）や日本フルードシステム（兵庫県西宮市）と開発し、2月に経済産業省の新連携計画に認定された。アルクールは水道水を逆浸透（RO）膜処理し、炭酸カリウムで電解する生成器で水素イオン濃度（pH）12.5の強アルカリイオン水にした後、独自の添加剤を加えて潤滑性を高める。生成器を含む導入費用は300万―400万円。

公的研究機関でMCによるステンレス加工の耐久試験をした結果、アルクールは水溶性切削油と比べ工具寿命までに3倍以上の数の穴を開けることができた。工具の回転数を約1割高めた試験では、穴数が約8倍に伸びた。山田マシンの山田雅英社長は「回転数を上げるほど工具寿命が延び、生産効率を向上できる」と指摘する。また複合加工機による試験加工では工具寿命の延長などにより、水溶性切削油と比べ年間工具費用を約半減する結果が得られた。

小さくても本物

東京 オリエンタルエンジニアリング
ガス浸炭炉、環境対応

オリエンタルエンジニアリング（東京都荒川区、木村良三社長、03・3802・4311）は、熱処理炉などの金属熱処理設備の製造販売のほか、浸炭などの熱処理加工の受託を手がける。同社は技術者が大半を占め、1952年の創業以来「一貫して新技術の研究開発に取り組んできた」（木村社長）。同社が国内で初めて開発した滴注式浸炭炉では、国内シェアが約9割と高い。国内だけでなく海外展開にも積極的で、特に中国では日本企業の進出がまだ少なかった88年に進出し、現在は同国に多くの拠点を持つ。

熱処理炉のうち、2年前に開発した高機能ガス浸炭炉「N―BBH」は、CO_2の発生量を同社従来製品比9割減らせるのが大きな特徴だ。炉内の加熱室を真空にして密閉した状態で浸炭することでガスの使用量を抑え、CO_2発生量の大幅な削減を実現した。

環境負荷が少ないだけでなく、性能面も優れている。浸炭速度は同社の従来の炉に比べて約2倍以上だ。表面に発生する酸化物である粒界酸化を大幅に抑えられ、「真空浸炭に近い形でできる」（同）のが売りだ。

現在は「環境に対する意識が高い企業からの問い合わせが多い」（同）という。すでにベトナムに1台を納入したほか、国内向けでも受注が決定。さらに商談中の案件が数件あるという。

4―5月の予定

【4　月】

◇**4日（水）大阪産業人クラブ**「工場見学会」（滋賀県甲賀市信楽町、近江鍛工信楽工場、木田バルブ・ボール三重工場、アイワ製作所伊賀上野工場）

◇**5日（木）―8日（日）埼玉産業人クラブ・NITEC埼玉産学交流会**「海外研修inマニラ」（エフテック・フィリピン工場視察ほか）

◇**11日（水）中国四国産業人クラブ**「第28回こんぴら歌舞伎鑑賞の旅」（香川県琴平町　四国こんぴら歌舞伎大芝居）

◇**13日（金）新潟産業人クラブ「新潟県工業技術総合研究所の見学説明会」講師：野中敏所長（新潟市中央区、同研究所）**

◇**18日（水）埼玉産業人クラブ・埼玉ビジネス研究会**「じっくり歴史に学ぶ」講師：小島鉄工所社長・小嶋隆善氏（さいたま市浦和区、日刊工業新聞社さいたま総局会議室）

◇**19日（木）名古屋産業人クラブ**「2012年度定時総会＆講演会」（名古屋市中村区、名鉄ニューグランドホテル）

◇**19日（木）九州・山口産業人クラブ**（北九州支部と合同）工場見学会と懇親会（北九州市八幡西区、安川電機）

◇**19日（木）―20日（金）中国四国産業人クラブ**「三菱電機・JFEスチール・福山メガソーラーの見学会・会員懇親ゴルフ大会」見学会：三菱電機、JFEスチール、福山メガソーラーなど、ゴルフ大会：JFE瀬戸内海ゴルフ倶楽部（岡山県笠岡市）

◇**23日（月）茨城産業人クラブ**「意見交換会」（水戸市、山口楼）

◇**25日（水）埼玉産業人クラブ・TDU産学交流会**「学生向け就職説明会」（埼玉県鳩山町、東京電機大学理工学部）

◇**25日（水）福島産業人クラブ**・低炭素社会を推進する会設立記念講演会「スマートグリッドの現状と課題（仮題）」講師：泉秀明東北経済産業局エネルギー課長（福島市、コラッセふくしま）

◇**25日（水）埼玉産業人クラブ・TDU産学交流会**「学生向け就職面接会」（埼玉県鳩山町、東京電機大学理工学部）

◇**26日（木）埼玉産業人クラブ**「第49回定時総会、第31回西海記念賞、第8回埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰」（さいたま市浦和区、浦和ロイヤルパインズホテル）

【5　月】

◇**6日（日）大阪産業人クラブ**「京都競馬場で競馬を楽しむ会」開催

◇**8日（火）新潟産業人クラブ**「春季ゴルフコンペ」（新潟県出雲崎町、大新潟カントリークラブ）

◇**15日（火）埼玉産業人クラブ・埼玉ビジネス研究会**「じっくり訪問シリーズ第16弾」（千葉県野田市、KHK野田）

◇**17日（木）大阪産業人クラブ**「2012年定時総会」（大阪市都島区、太閤園）

◇**18日（金）埼玉産業人クラブ・TDU産学交流会**「東京電機大学新キャンパス見学会」（東京都足立区、東京電機大学東京千住キャンパス）

◇**23日（水）名古屋・岐阜産業人クラブ**「トヨタ自動車・田原工場」見学会（愛知県田原市）

◇**24日（木）千葉産業人クラブ**「春期ゴルフコンペ」（千葉市若葉区、袖ヶ浦カンツリー倶楽部／新袖コース）

◇**30日（水）中国四国産業人クラブ**「中国四国産業人クラブ定時総会・記念講演会・交流会」（広島市中区・リーガロイヤルホテル広島）

◇**30日（水）日本産業人クラブ連合会・東京産業人クラブ・埼玉産業人クラブ・千葉産業人クラブ・群馬産業人クラブ・栃木産業人クラブ・茨城産業人クラブ**「首都圏産業人クラブ合同　若手・地域間交流」（東京都台東区・伊豆梅川亭）

インドネシアをテーマに講演会
東京産業人クラブ・女性部会が4月例会

東京産業人クラブ・女性部会（佐川八重子会長＝桜ゴルフ社長）は4日、東京・大手町のKKRホテル東京で4月例会を開いた。日刊工業新聞社の井水治博社長が「インドネシアに活路を開け！」をテーマに講演し、中小企業の女性経営者ら約50人が参加した。

井水社長は3月上旬に実施したインドネシア産業視察の報告を軸に、同国の市場状況や政治的背景についてデータを交え紹介。「法制度やインフラに不安はあるものの、大規模市場かつ内需が安定して成長しており、親日」と、投資先としての魅力をアピールした。また大きな拍手でアンコール。

ジウォンさんも「一生懸命に頑張ります」と流ちょうな日本語で応え、韓流ブームを象徴するような熱気に会場は包まれた。

▲特別アトラクションでは韓流歌手のジウォンさんが登場

▼講演会には女性経営者ら約50人が参加した

住金鹿島製鉄所の安全体感施設見学
茨城産業人クラブ

茨城産業人クラブ（柳生修会長＝コロナ電気社長）は3月15日、住友金属工業鹿島製鉄所（茨城県鹿嶋市）と所内の安全体感施設の見学会を実施した。会員ら約30人が参加した。

参加者が最初に訪れた厚板工場では、圧延機にかけられたスラブ（鋼片）が薄く広がっていく様子を見学。また、熱延工場では、圧延機にかけられたスラブが薄板となり、最終的にコイル状に巻き取られるまでの工程を見学した（写真）。

工場棟見学後には、製鉄所内にある住金マネジメント鹿島事業所内で、高所、回転体、玉掛け、電気の危険体験を見学。参加者は高さ5㍍の場所から70キログラムの重りを落とすと衝撃が4トンにもなる様子を見たり、ゆっくり動く回転体でも指を挟んだら引き戻せない体験や、ぬらした手で電線に触れて感電してみる体験などを通して、危険防止のルールがなぜあるのかについて実際に学んだ。

茨城の先端企業見学会を開く
群馬産業人クラブ・ハイテク部会

群馬産業人クラブ・ハイテク部会（鮒沢恭一部会長＝関東精機社長）は前橋市異業種交流グループとの共催で3月22、23の両日、茨城県内を会場に「先端企業技術見学会」を1泊2日で開いた。13人が参加した。

22日は日立製作所日立事業所を視察。創業者の小平浪平氏の偉業を後世に伝える小平記念館を見学した。日立製作所最初の製品である「5馬力モータ」が作られた創業小屋は130平方㍍程度の小さな工場。参加者からは「モノづくりの日立の歴史を感じた」といった声が聞かれた。

また日立の製品、技術発達の歴史、町づくり、人づくりについてもさまざまな歴史資料が展示されていて参加者の目を引いた。

23日はコマツ茨城工場を視察（写真）。同工場は建設・鉱山機械のリジットダンプトラック、ホイールローダーなどを製造。組立工場のラインを見学した後、完成した巨大な鉱山機械を目の前にした参加者はその迫力に圧倒されていた。

大分産業人クラブ発足
初代会長に太田氏

大分産業人クラブは3月22日、設立総会を大分市の大分全日空ホテルオアシスタワー（現大分オアシスタワーホテル）で開いた。会則などを審議したほか、初代会長に、ざびえる本舗（大分市）の太田清利社長を選出した。

会員は大分県内の中小企業経営者や役員、大分大学関係者を含めた計15人。またオブザーバーとして大分県産業創造機構（同）が参加する。今後は工場・施設見学会や、講演会などの活動を行い親睦を深める。

会長に就任した太田氏は「大分ならではの特色ある活動を行い、活発に交流の輪を広げて社業発展の種を見つけてもらいたい」と抱負を述べた。

総会後の記念祝賀会（写真）では来賓の井手信一九州経済産業局産業部長、山本和徳大分県商工労働部長、花田寛九州・山口産業人クラブ会長（キューヘン社長）らを囲み、新産業人クラブの前途を祝して歓談した。

会員は次の通り。

▽**荒川　哲生氏**　八光産業製造本部設計部部長（大分県中津市大字是則1136、097・327・2460、グラスライニング機器製造・販売）

▽**太田　清利氏**　ざびえる本舗社長（大分市大分流通業務団地1の3の11、097・524・2167、菓子製造・販売）

▽**高木　奈保子氏**　タカキ製作所社長（大分市下郡3113の1、097・583・5535、半導体、太陽電池など各種検査装置製造・販売）

▽**岡田　秀敏氏**　ゼロテクノ社長（大分市末広町1の5の16、097・537・6609、建築材料の製造、販売）

▽**佐竹　享氏**　スプリングの佐竹社長（大分県日田市石松町1707の1、0973・27・6200、各種バネ製造・販売）

▽**石井　源太氏**　デンケン社長（大分県由布市挾間町高崎97の1、097・583・5535、半導体、太陽電池など各種検査装置製造・販売）

▽**阿川　丈生氏**　阿川鍍金工業所社長（大分市原川3の2の18、097・558・3758、各種電気めっき、非鉄金属表面処理加工）

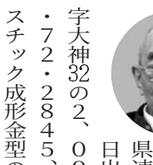
▽**幾留　勲氏**　コーリツ会長（大分市大字羽田1153の4、0977・567・5100、各種精密機械組み立て）

▽**平岩　禎一郎氏**　佐伯印刷社長（大分市古国府1155の1、0977・543・1211、各種印刷物、広告宣伝媒体製作）

▽**池永　征司氏**　池永セメント工業所副社長（大分市大字中戸次4763、097・597・3113、コンクリート製品製造・販売・施工）

▽**北野　正剛氏**　大分大学学長（大分市大字旦野原700、0977・569・3311、大学運営）

▽**大川　貞雄氏**　大川金型設計事務所会長（大分県速見郡日出町大字大神32の2、0977・72・2845、プラスチック成形金型の設計・加工）



▽**大倉　崇史氏**　大倉菓機専務（大分県別府市船小路町3の37、0977・21・6363、食品加工機械製作・販売）

▽**秋国　元氏**　テオリック専務（大分県国東市国東町小原268、0978・72・3917、精密金型、精密機械部品製造）

▽**松田　拓氏**　フクテクノクラス大分総務部長（大分市向原沖1の1の15、097・551・1181、機械加工）